

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 40

2013.5.1 (No.2731)

第2560地区ガバナー／鈴木重彦  
 会長／杉山幸英  
 会長エレクト／丸山行彦(クラブ奉仕A)  
 副会長／高橋司(クラブ奉仕B)  
 幹事／若槻八十彦  
 S A A／西山徳芳  
 会計／小出子恵出

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

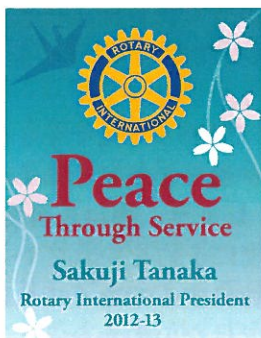
E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

- 本日の出席会員数:57名中42名
- 先々週出席率:87.04%

【先週のメイクアップ】

[4.30] 三条北RCへ

- ・ 斎藤弘文さん、 菊池 渉さん、
  - ・ 中村光一さん、 会田二朗さん、
  - ・ 丸山行彦さん、 小越憲泰さん、
  - ・ 加藤紋次郎さん、 熊倉昌平さん
- (8名)



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ

「加茂川を泳ぐ鯉のぼり」



会長挨拶

杉山幸英 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。  
 最近では寒くなったり、暖かくなったりです。  
 連休も3連休の後、3日間仕事で4連休の方が  
 多いようです。

私も後半の4連休で四国の足摺岬と愛媛  
 の宇和島城を見に行く予定でしたが予定変  
 更で前半の29日に長野県佐久市の竜岡城五  
 稜郭跡を見に行きまして参りました。お堀は3  
 分の2ほど残っており、残りの3分の1は埋め立てられて畑に  
 なっておりましたが、当時はおそらく川で有ったものと思わ  
 れます。

お堀と桜はお城には付き物で、桜の満開の時はたいそう綺  
 麗だったのでしょう。現在は城郭の中に小学校が有り、当時  
 の建物は台所棟が残っておりました。楽しかったです。皆様  
 も連休後半をお楽しみください。

本日は出席率のついてのお願いが有ります。

最近では出席率が低下しております。本日例会に出席の方  
 にお願ひするのは筋違いかと思ひますが、出席率向上の為  
 に他の会員の方にメイキャップをお薦めして頂きたいと思ひ  
 ます。年間出席率90%をきり、80%になった後は90%に回復致  
 しておりませんので80%を切りませんように皆様の御協力を  
 お願い致します。

挨拶を終わります。

# 幹事報告

若槻八十彦 幹事

◎雪国魚沼RCより

「創立50周年記念式典出席の御礼」が届いております。

## ニコニコBOX

杉山幸英さん

連休の中休み中の例会です。

渡辺会員卓話楽しみにしております。

小出子恵出さん

4/28(日)に松谷、橘の元会員と国上山から雨乞山、弥彦山、多宝山、樋曾山を至て、じよんのび館まで縦断踏破し、体力テストをして来ました。

西山徳芳さん

熱狂の日、連続演奏会で楽しんで来ました。

渡辺会員卓話ご苦労様です。

吉井直樹さん

五月になりました。五月は三条まつりの月です。皆様にはお世話になりますが、行列を盛り上げて良いまつりになる様、協力をお願いします。本日は渡辺会員宜しく願います。

関川 博さん

先週の例会欠席したせいか？体の調子が今一歩です。ここに来るとホットします。

渡辺稔さん、卓話楽しみです。

樺山 仁さん

前半の連休も終わり後半の休日計画通りに楽しみたいと思っています。

本日の渡辺稔会員の卓話を楽しみにしております。

斎藤弘文さん

下田の山に小出会員の御指導のもとこしあぶらを取りに行き、その夜おいしくいただきました。

渡辺勝利さん

さんしん旅行のアルバム頂戴しまして感謝します。

渡辺稔会員卓話ありがとうございます。

捧 賢一さん、大沼公成さん、会田二郎さん、  
歸山 肇さん、高橋 司さん、阿部吉弘さん、  
外山雅也さん、松永一義さん、五十嵐博宣さん、  
若槻八十彦さん、五十嵐昭一さん、船越正夫さん、  
米山智哉さん、金子俊郎さん、丸山行彦さん、  
荻根沢隆雄さん、小越憲泰さん

渡辺稔会員、本日は卓話ありがとうございます。  
お話楽しみにしております。

5月1日分 ￥ 27,000  
今年度累計 ￥1,194,000

## 「卓話」

渡辺 稔 会員



この度の卓話の話を歸山さんから持ちかけられたのは夜例会(新年会)でのイベントの利き酒で全部を当てた(吉井さんと私の2人だけ)後で、もう舞い上がっている時でした。

利き酒には苦い思い出がありました。それはもう10年位前当

時学校PTA役員の仲間6人で参加した会では私は1つも当てる事ができず友人に酒の味のわからない男と不名誉な称号をもらったことがあったものですからこのときの嬉しさを言葉にしたなら足が床から浮いてるようななどでもいいでしょうか。そんなタイミングで言われたものですから考えもせず受けてしまいました。翌朝酔いのさめた頭になった時、後悔したのは言うまでもありません。

話があっちこっちになりましたが、今から丁度1年前になりますが私が入院した事がありました。退院することが出来た後、私が病院で思う事は多々あるけど、「仕事ができる事、そして友人と会いたい時に会えるのが、そして、家族と当たり前前に食事で見れる。普段当たり前過ぎて思ったりしない事が出来る。それがどんなに幸せか。」と話したことが歸山さんとご一緒させて貰った時に話した事があり、それがとても印象に残ったから是非卓話で話してくれと言ってくださいました。

なぜ入院することになったのか。この後の治療、検査などのことは私の個人的な主観が強い内容になりますのでけっして皆さんにおすすめできるものではありません。?マークくらいに聞いて頂きたいと思います。

変調に最初に気がつくのは2月の中頃、除雪をしていた時に汗を拭おうとハンカチで首に手をやった時でした。右の首筋に指が触れたとき、豆つぶくらいの腫があるのに気がつき、家に帰ってかみさんに見せると医師にみてもらったらと言われ気にはなっていたのですがまだ雪が多く毎日除雪に負われ検診を受けたのは翌3月に入った3日。地元耳鼻科医院で花粉と合わせて、症状を話すとファイバースコープで喉を次に鼻から、そして耳からと見てもらった結果、特に異常はないと思うが痛みが気になるので薬を飲んでその後を見てみましょう。薬は3週間分です。そう言われたら3週間後に予約をいれていった方が良いかと聞きますと、特にすぐでなくても良いとの言葉。内心たいした事ではないのかな?と思ってました。

それで私ものんびりかまえ薬が無くなって1週間後の4月2日に耳鼻科さんに伺いました。たいした事

ないんだろうと思う私の思いと裏腹、先生はできものが小さくなっていないのが気になるので大学病院か県立のどちらか紹介状書くので検査を受けるように。たいした考えも無く県立の名前を出してました。予約を取ってもらうと次の日に見てもらえるとの事。病院でみてもらう事などなかったものですからクルマ止めて受付行ってと簡単に考えていると駐車場に入る迄が車の列。やっと車を止めて受付窓口に行く人多いのに圧倒されてしまいました。

予約だからすぐ見てもらえるものと思っていた私のなんと考えが甘かったことか。受付終わって待つ事1時間、やっと名前呼ばれて病室入るとまだ若い医師と若い看護師さん。どちらもやさしそうな人よかったな、などと思う私に先生は症状を確認し喉から細胞を取るので一種麻酔のようなものを口に含み10分くらいそのまま。看護師さんがここで待ってくださいと診察室の脇のベッドの隣のいすを指さして指示してくれました。上を向いて飲み込まないようにして座るとその椅子がガクッと下がってしまいます。ビックリしたのですがその看護師さんがすみません。うちの病院は検査の機械に予算取っても備品はお金出してくれないんです。今度は下がらないように気をつけますね。とその日は細胞の採取と次の検査のCTの予約。この週6日金曜でした。この時余計な事を聞いてしまったのですが、注意にタバコの事が出なかったので喫煙はオッケーなのかと聞いてしまったのです。言われたのは世界中、どの国の医師でもタバコを良いと言う人はいないでしょ！、仕方がないが翌週13日金曜には検査の結果が出るのでそれまでの我慢だ。これがまさか吸う事がなくなるとは思いませんでしたが、深く考えない私はたいした事ありませんでしたよ、と言われると思って帰りにお昼はなにか美味しいものを食べようかな、どこがいいかな！タバコも吸いたいな、などと軽い気持ちでいる私に医師からは思いもしない言葉が。入院して治療の必要があります。次は奥さんと来てください。入院の予定は病院の都合もあり連休明け7日と告げられもう目の前が真っ暗に。翌週金曜27日にかみさんと一緒に行き病状の説明、治療の予定。そして入院の手続きやその他と話を聞いていると投薬を2回に分けて行いその後別の治療を行う事になるだろうから1回に約1ヶ月。それごとに退院、入院と行っていくと1年コースになってしまう事とされました。

これじゃ仕事ができないな。会社は大丈夫かな。と考えたりしてたらもう虚ろな状態。説明を終えて立とうとすると医師が「すみませんが7日から入院と言いましたが学会とかの関係で14日にしてください」と悪そうに言うのですが、病院もいい加減なところがあるなって思ったこの事が精神的に後押しし

てくれる事になりました。

14日月曜入院、翌日から日曜から始まる投薬の準備です。排出する水分、ようするに1日分のおしっこを計るために計量カップで取り自分専用バケツに溜めるのです。これは排出する水分を計算した分の投薬をするためです。金曜日までの4日間でしたが少しでも多く出したほうが良いのかと思って、まるで子供が褒められたい思いの様に水分を補給してました。いよいよ日曜日から始まった投薬は金曜お昼前に終わりました。

身体が怠いくらいに思うだけで、特はなかったのですが後で出ますと言われていたのが気になってはいました。翌週月曜日に血液を採取されて白血球の数値をみるとのこと。基準値に戻らないと退院どころか外出もできないとのこと。なにもやる事の無く時間と暇だけは持て余しているところに時間をさいて見舞いにきて頂いた時はほんとうに嬉しかったです。この週にその後の流れを作る大きなポイントとなる山田前会長に杉山さん、熊倉さんが訪ねて来てくださいました。入院する事が決った頃に同時期に申請させて頂いておりました夏期交換留学生に長男が、一方先方からの留学生の受け入れも決まっておりました。出来るのかどうかと言うより兎に角行かせたい。受け入れをしたい思いだけでいた私に担当委員でおられた熊倉会員が無理をしないでよいので、もし無理なら断っても良いから、と氣遣っての言葉を頂きました。結果としては私の我侷を通して下さって交換留学は予定通りに進めてくださるのです。

病院の話に戻しますとこの投薬終了後翌週も外に出してもらえず3週間後に退院できるのですが、あくまでも次の投薬までの期間であり一時的なものだったのです。途中何度かの外来での受診がありましたが其の都度担当医からは何時次の入院をするのかと問われ、当方はドイツからの留学生の子が来ますからその後。この間、友人や親戚からこれが効くから、これが良いからと進められたサプリメント類はすべて試しました。春ウコンに昆布から採れるフコイタン、キノコ類からのアガリクス。蜂蜜のプロポリスに免疫を高める酵素。まだ有りました。本も何冊も買い込み読みました。中には多く買い過ぎ途中までしかつてもありますが、知識は得られました。ドイツからの留学生の子たちは杉山会長、若槻幹事、そして担当委員会の熊倉・佐野会員からの暖かくも綿密なスケジュールを立てて進行して頂きました。御蔭で無事に次の糸魚川クラブのホストファミリーに引渡す事もできました。そんな頃友人が免疫を高める治療方法があると教えてくれました。その治療方法を行っていて説明もしてくれる医療機関が地元有ると聞いて主治医に頼み紹介状を作ってもらい

ました。

8月8日にその病院へ行き約1時間その治療法の説明を聞き、自分はどうなのかと質問するとその先生からは多分行った投薬治療できれいになっていると思います。けれど念のためにこの免疫治療を行わないかと。それは安心だからと言われたら試してみたくりますが保険対象外なので高額な費用がかかります。取りあえず検討したいとそちらの病院を失礼して、その結果をもって2日後に予約をしていたので主治医に話すとき意外にも自分たちが見立てた治療法でしか治せないのだからすぐに入院するよう強く進められました。数だけは本を読み知識は得たといっても所詮素人の俄か知識です。専門医から言われたらぐらついてしまいます。ですが長男がドイツに向かう日程が目の前になっています。なんとか入院はこの交換プログラムが終わるまで引き延ばしたい。だけど症状が気になると悩みを持っていた時に思い出したのが入院する時に病院の都合で1週間延びた事。実はそんなに急がなくても私の場合大丈夫なのでは？と都合の良い方を取っていた時に埼玉在住の弟から電話が、知人で大宮で整体医院を開業している方が（以前千葉県立の病院で勤務経験がありこの病気にも詳しいとの事）こんな検査を行っている医師がいるが、もし関心があれば紹介してくれるとのこと。藁にすがる気持ちではありましたが何せその検査機器をネットで調べても何点も出てきません。大丈夫かな？と少々不安な気持ちで29日水曜日に途中弟が迎えてくれて横浜に向かいます。検査は想像していたものから比べるとまるで簡単なものでしたが、表示される結果は私の病状の箇所からは

カビの一種ベルギルスとその天然カビ毒素であるアフトラキンという要素の反応があると。だが入院しての治療は行わなくても別の方法で治療できると言われたのです。この時は目の前の靄が一挙に晴れる。けっして大げさでなくて本当にそう思えました。この診断の結果を私は信じて結果として主治医とも何回か話し合いました。当初は自分たちのチームで見立てた方針でと強引にさえ思われて2回3回と外来受診を入れて話し合いをさせて貰いましたが、最後は私の希望を優先してくれること。そしてもし、具合が悪ければ何時でも病院で受け入れてくれるとこれ以上願ってもない事を言ってくれました。まあ余りに私がへそ曲がりと思ったのでしょうか。そのおかげで私はこうして皆さんの前にいることが出来ています。でも私がへそ曲がりだとしても、ロータリーの交換プログラムが無かったら、多分結果は違っていたんじゃないかと思えてなりません。

杉山会長が「利き酒で当って卓話もあたるのはよっぽど当るから帰り道宝くじを買ったら当るんじゃないかな。」と丸山さんに話したらあっさり「利き酒は割と分かるような組み合わせにしたし、卓話は偶然でしょうからね。」とのやりとりがあったと言われまして、次は真面目な年度になるなあ、と言われたのが印象的でした。

次年度も是非この三条クラブで一緒に活動させて頂きたいと思っております。

つまらない話におつき合い頂きまして感謝しております。

ありがとうございました。

次週例会 5月15日 **クラブ休会**

次々週例会 5月22日 「外部卓話(予定)」

